

「アイヌに対する理解度に関する世論調査」の概要

令和5年2月
内閣府政府広報室

調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人 有効回収数1,602人(有効回収率53.4%)
調査期間	令和4年11月17日～12月25日
調査方法	郵送法
調査目的	アイヌに対する理解度に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 アイヌの人々や文化の認知について 2 アイヌの人々に対する差別や偏見について 3 国民理解の促進について
調査実績	「国民のアイヌに対する理解度に関する世論調査」(平成28年1月) 「アイヌ政策に関する世論調査」(平成25年10月)
関係府省庁	内閣官房(アイヌ総合政策室)
その他	1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 2 平成28年1月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和4年11月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 アイヌの人々や文化の認知について

(1) アイヌの人々や文化と接した機会の有無

【資料】 アイヌについて

- ・アイヌの人々は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道に先住し、かつては、狩猟・漁労・採集や交易を行い、独自の言語や文化を形成していましたが、北海道開拓時代に日本語教育や猟の制限などにより、アイヌの文化は深刻な打撃を受けました。
- ・現代では、衣食住などの日常生活において、他の日本人と変わらない様式で生活しています。
- ・最近では、民族共生象徴空間、愛称ウポポイなどを通じたアイヌ文化の振興と普及啓発が行われています。

(上記資料を提示して)

問1. あなたは、アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはありますか。(は1つ)

令和4年11月

- ・ある 21.0%
- ・ない 70.5%

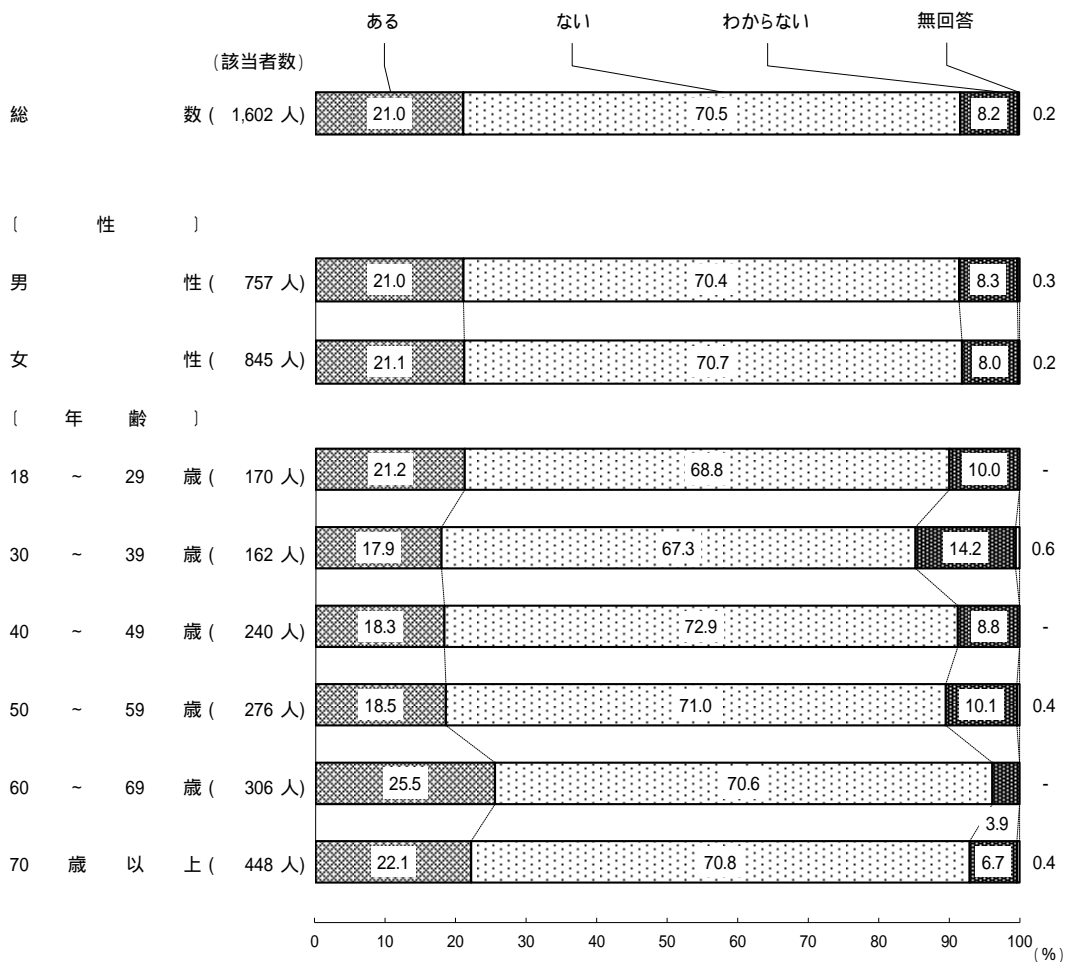


表1 アイヌの人々や文化と接した機会の有無

	該 当 者 数	あ る	な い	わ か ら な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総数	1,602	21.0	70.5	8.2	0.2
〔都市規模〕					
大都市	427	26.7	64.9	8.2	0.2
東京都区部	96	31.3	60.4	8.3	-
政令指定都市	331	25.4	66.2	8.2	0.3
中都市	669	21.2	70.1	8.4	0.3
小都市	371	14.6	77.4	7.8	0.3
町	135	20.0	71.9	8.1	-
〔性〕					
男性	757	21.0	70.4	8.3	0.3
女性	845	21.1	70.7	8.0	0.2
〔年齢〕					
18～29歳	170	21.2	68.8	10.0	-
30～39歳	162	17.9	67.3	14.2	0.6
40～49歳	240	18.3	72.9	8.8	-
50～59歳	276	18.5	71.0	10.1	0.4
60～69歳	306	25.5	70.6	3.9	-
70歳以上	448	22.1	70.8	6.7	0.4

表1 - 参考 アイヌの人々やアイヌ文化と接した機会の有無

	該 当 者 数	あ る	な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成28年1月調査	1,727	24.7	74.1	1.3

(注1) 「あなたは、アイヌの人々やアイヌ文化に接したことはありますか、それともありませんか。」と聞いている。

(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

2 アイヌの人々に対する差別や偏見について

(1) アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

問2. あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思いますか。(は1つ)

令和4年11月

- ・あると思う 21.3%
- ・ないと思う 28.7%
- ・わからない 49.7%

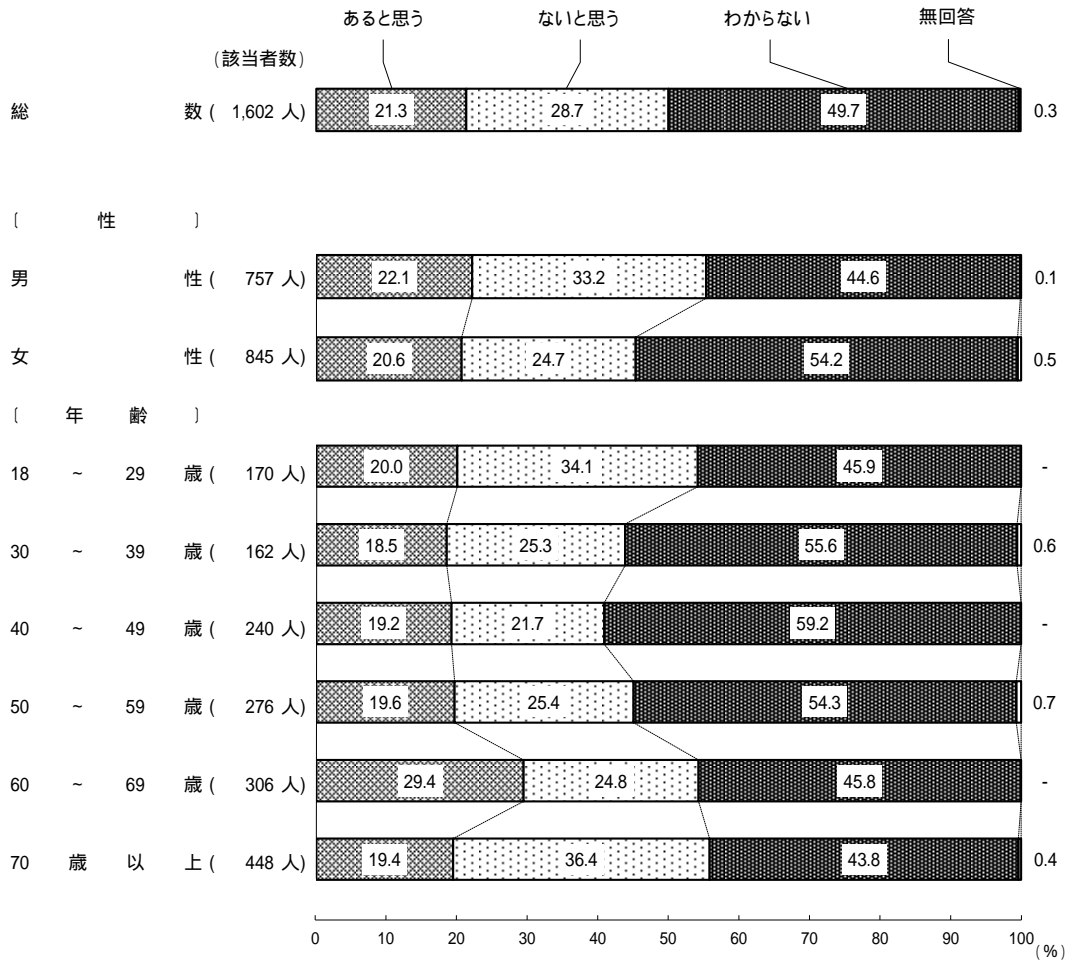


表2 アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

	該 当 者 数	あ る と 思 う	な い と 思 う	わ か ら な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	1,602 427 96 331 669 371 135 757 845 170 162 240 276 306 448	21.3 24.4 26.0 23.9 20.8 19.7 18.5 22.1 20.6 20.0 18.5 19.2 19.6 29.4 19.4	28.7 27.2 28.1 26.9 28.1 29.6 34.1 33.2 24.7 34.1 25.3 21.7 25.4 24.8 36.4	49.7 48.5 45.8 49.2 51.0 49.6 47.4 44.6 54.2 45.9 55.6 59.2 54.3 45.8 43.8	0.3 - - - 0.1 1.1 - 0.1 0.5 - 0.6 - 0.7 - 0.4

表2 - 参考 アイヌの人々に対する差別や偏見の有無

	該 当 者 数	あ る と 思 う	な い と 思 う	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成28年1月調査	1,727	17.9	50.7	31.4

(注1) 「あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見があると思いますか、それともないと思いますか。」と聞いている。
(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 差別や偏見があると思う理由

(問2で「あると思う」と答えた者に)

問3. 差別や偏見があると思ったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

(上位2項目)

令和4年11月

- ・ 報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがあるから 62.8%
- ・ 漠然と差別や偏見があるイメージがあるから 39.9%

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

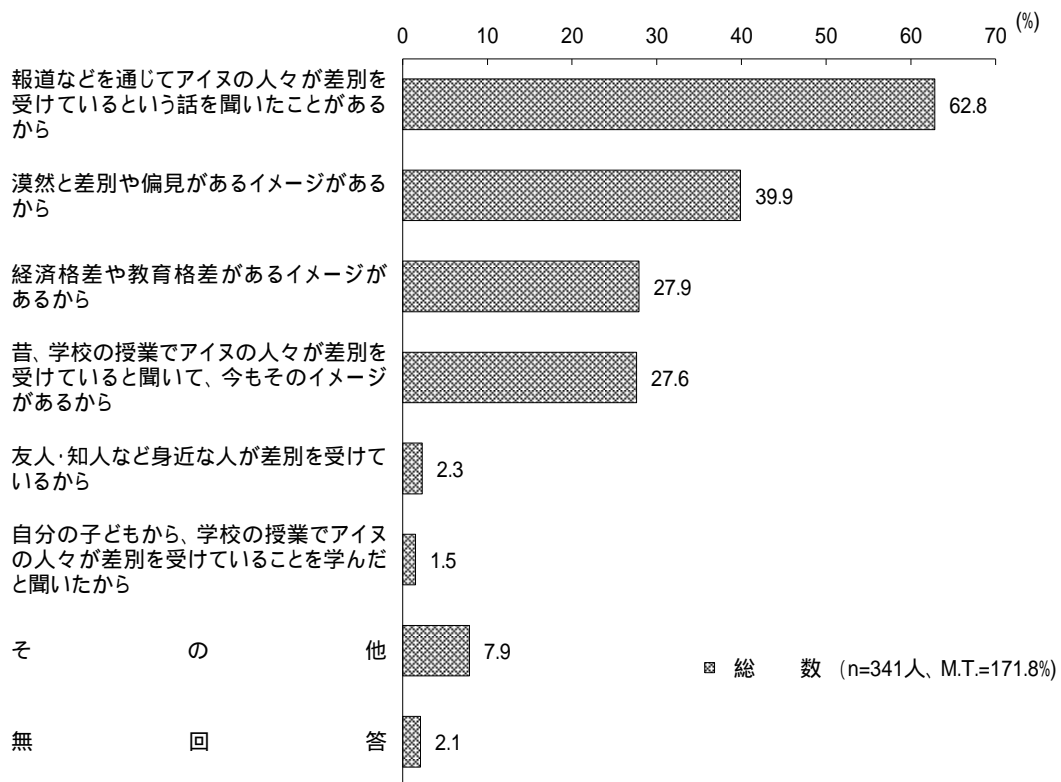


表3 差別や偏見があると思う理由

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	聞 が 報 道 な ど を 通 じ て ア イ ヌ の 人 々 を タ ラ シ イ と 思 う 理 由	ジ 漠 然 と 差 別 や 偏 見 が あ る イ メ ー ジ	メ ジ が あ る イ メ ー ジ	経 済 格 差 や 教 育 格 差 が あ る イ メ ー ジ	昔 、 学 校 の 授 業 で ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る と 聞 い て 、 今 も そ の イ メ ー ジ が あ る か ら	友 人 ・ 知 人 な ど 身 近 な 人 が 差 別 を 受 け て い る か ら	自 分 の 子 ど も か ら 、 学 校 の 授 業 で ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る か ら	そ の 他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	341	62.8	39.9	27.9	27.6	2.3	1.5	7.9	2.1	171.8	
〔都市規模〕											
大都市	104	59.6	37.5	27.9	35.6	2.9	1.9	6.7	-	172.1	
東京都	25	56.0	40.0	16.0	16.0	4.0	4.0	12.0	-	148.0	
政令指定都市	79	60.8	36.7	31.6	41.8	2.5	1.3	5.1	-	179.7	
中都市	139	62.6	37.4	27.3	21.6	2.9	0.7	10.1	3.6	166.2	
小都市	73	65.8	47.9	31.5	27.4	-	1.4	6.8	1.4	182.2	
町村	25	68.0	40.0	20.0	28.0	4.0	4.0	4.0	4.0	172.0	
〔性別〕											
男性	167	59.9	43.1	29.9	29.9	3.0	2.4	9.0	1.2	178.4	
女性	174	65.5	36.8	25.9	25.3	1.7	0.6	6.9	2.9	165.5	
〔年齢〕											
18～29歳	34	52.9	38.2	17.6	32.4	-	-	2.9	8.8	152.9	
30～39歳	30	56.7	33.3	16.7	40.0	-	-	3.3	3.3	153.3	
40～49歳	46	58.7	34.8	19.6	28.3	4.3	-	6.5	2.2	154.3	
50～59歳	54	70.4	35.2	31.5	25.9	1.9	5.6	13.0	-	183.3	
60～69歳	90	66.7	38.9	26.7	22.2	3.3	2.2	7.8	-	167.8	
70歳以上	87	62.1	49.4	39.1	27.6	2.3	-	9.2	2.3	192.0	

表3 - 参考 差別や偏見があると思う理由

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	聞 が 報 道 な ど を 通 じ て ア イ ヌ の 人 々 を タ ラ シ イ と 思 う 理 由	ジ 漠 然 と 差 別 や 偏 見 が あ る イ メ ー ジ	メ ジ が あ る イ メ ー ジ	経 済 格 差 や 教 育 格 差 が あ る イ メ ー ジ	昔 、 学 校 の 授 業 で ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る と 聞 い て 、 今 も そ の イ メ ー ジ が あ る か ら	友 人 ・ 知 人 な ど 身 近 な 人 が 差 別 を 受 け て い る か ら	自 分 の 子 ど も か ら 、 学 校 の 授 業 で ア イ ヌ の 人 々 が 差 別 を 受 け て い る か ら	そ の 他	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成28年1月調査	309	47.2	39.8	24.6	21.0	3.9	3.9	2.6	143.0	

(注1) 「あなたは、なぜ差別や偏見があると回答しましたか。この中からいくつかもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(イ) 差別や偏見の原因・背景

(問2で「あると思う」と答えた者に)

問4. 差別や偏見の原因・背景は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)

令和4年11月

- ・アイヌの歴史に関する理解の不十分さ 78.9%
- ・アイヌ文化に対する理解の不十分さ 75.4%
- ・行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組の不十分さ 61.3%

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

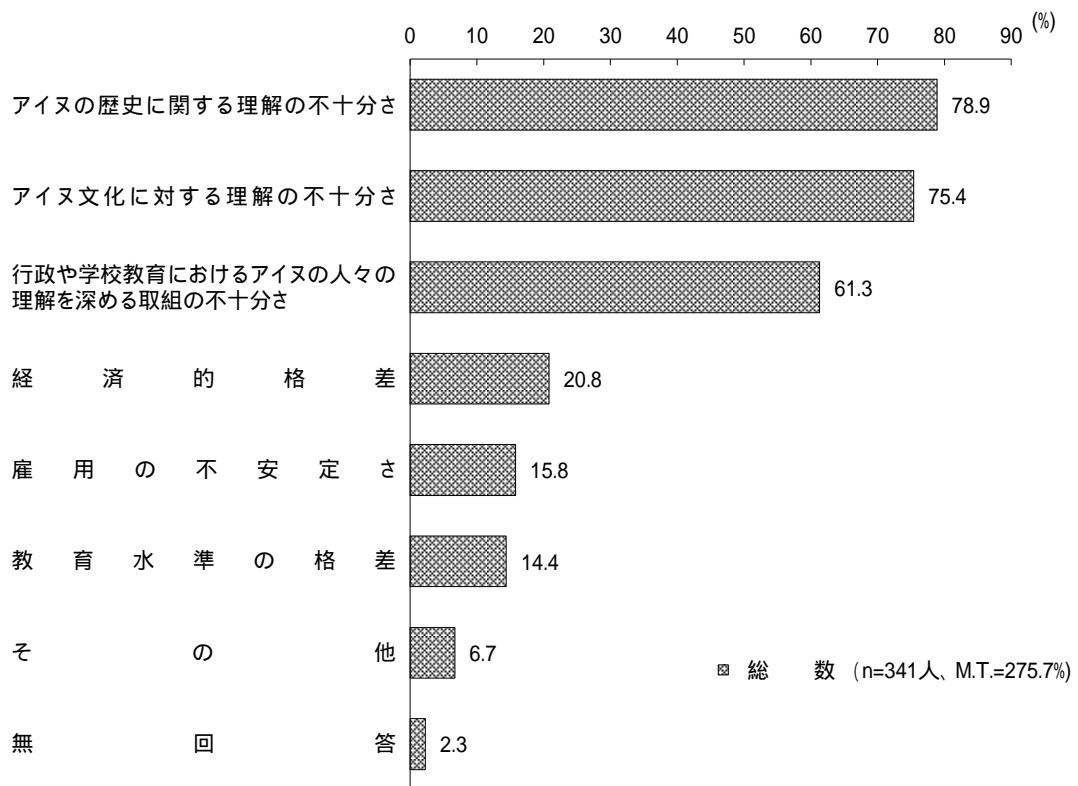


表4 差別や偏見の原因・背景

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	の ア イ ヌ の 不 十 分 さ の 歴 史 に 関 す る 理 解	不 ア イ ヌ の 不 十 分 さ 文 化 に 対 す る 理 解	取 組 の 不 十 分 さ の 理 解 を 深 め る	行 政 の 人 々 の 理 解 を 深 め る	経 済 的 格 差	雇 用 の 不 安 定 さ	教 育 水 準 の 格 差	そ の 他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市	341	78.9	75.4	61.3	20.8	15.8	14.4	6.7	2.3	275.7	
東 京 都 区 部	104	76.0	68.3	62.5	26.0	18.3	15.4	8.7	1.9	276.9	
政 令 指 定 都 市	25	76.0	64.0	64.0	28.0	16.0	20.0	16.0	-	284.0	
中 都 市	79	75.9	69.6	62.0	25.3	19.0	13.9	6.3	2.5	274.7	
小 都 市	139	82.0	76.3	62.6	16.5	16.5	12.2	5.8	2.9	274.8	
町 村	73	76.7	79.5	64.4	20.5	11.0	17.8	6.8	-	276.7	
〔性〕	25	80.0	88.0	40.0	24.0	16.0	12.0	4.0	8.0	272.0	
男 性	167	76.6	68.3	62.9	25.1	16.8	17.4	7.2	3.0	277.2	
女 性	174	81.0	82.2	59.8	16.7	14.9	11.5	6.3	1.7	274.1	
〔年 齢〕											
18 ~ 29 歳	34	76.5	79.4	32.4	14.7	5.9	14.7	8.8	5.9	238.2	
30 ~ 39 歳	30	73.3	73.3	60.0	13.3	6.7	13.3	13.3	3.3	256.7	
40 ~ 49 歳	46	82.6	76.1	65.2	23.9	19.6	13.0	6.5	2.2	289.1	
50 ~ 59 歳	54	87.0	81.5	57.4	16.7	14.8	13.0	9.3	1.9	281.5	
60 ~ 69 歳	90	76.7	76.7	60.0	20.0	22.2	14.4	4.4	2.2	276.7	
70 歳 以 上	87	77.0	69.0	74.7	27.6	14.9	16.1	4.6	1.1	285.1	

表4 - 参考 差別や偏見の原因・背景

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	の ア イ ヌ の 不 十 分 さ の 歴 史 に 関 す る 理 解	不 ア イ ヌ の 不 十 分 さ 文 化 に 対 す る 理 解	取 組 の 不 十 分 さ の 理 解 を 深 め る	行 政 の 人 々 の 理 解 を 深 め る	経 済 的 格 差	教 育 水 準 の 格 差	雇 用 の 不 安 定	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平 成 28 年 1 月 調 査	309	65.0	64.1	42.1	17.5	15.9	13.3	1.0	3.2	222.0	

(注1) 「差別や偏見の原因・背景は何だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ウ) 差別や偏見を無くすために必要なこと

(問2で「あると思う」と答えた者に)

問5. 差別や偏見を無くすために必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)

令和4年11月

- ・アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育 79.2%
- ・アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動 67.2%
- ・アイヌの人々への差別に対応する専門の相談機関・施設の充実 35.2%

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

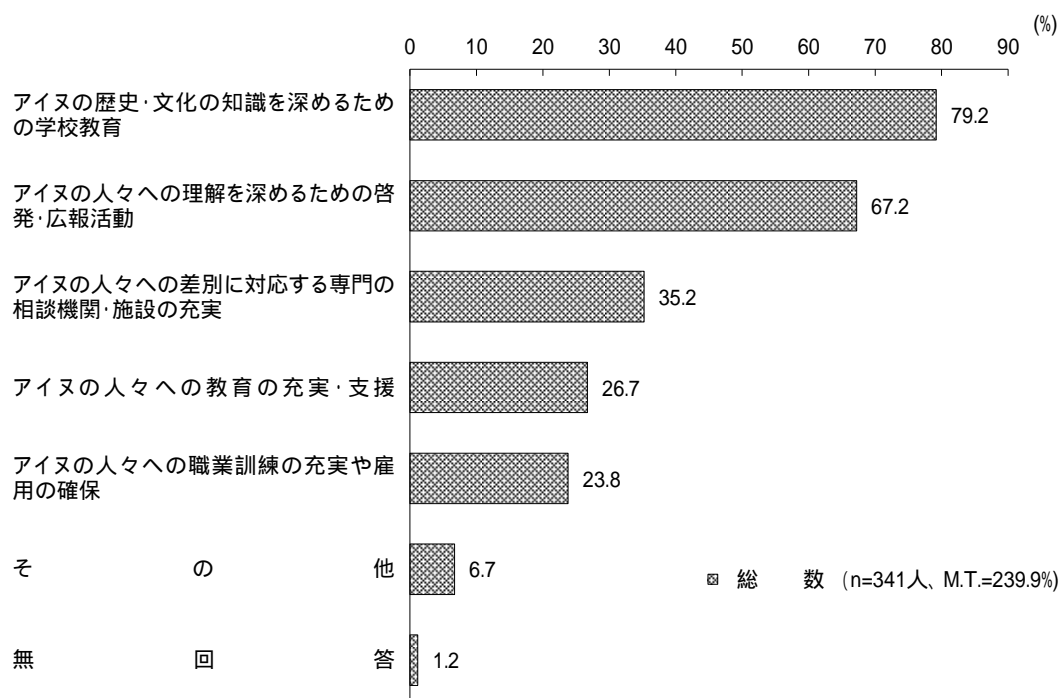


表5 差別や偏見を無くするために必要なこと

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	深 め る た め の 学 校 教 育	ア イ ヌ の 人 々 へ の 理 解 を 深 め る た め の 啓 発 ・ 広 報 活 動	充 実 す る ア イ ヌ の 人 々 へ の 相 談 機 関 ・ 施 設 に 対 応	充 実 す る ア イ ヌ の 人 々 へ の 教 育 の 充 実 ・ 支 援	充 実 す る ア イ ヌ の 人 々 へ の 職 業 訓 練 の 確 保	そ の 他	無 回 答	計 (M.T.) %
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	341	79.2	67.2	35.2	26.7	23.8	6.7	1.2	239.9
東 京 都 区 部	104	79.8	64.4	46.2	30.8	26.9	6.7	1.0	255.8
政 令 指 定 都 市	25	76.0	76.0	44.0	28.0	28.0	12.0	-	264.0
中 都 市	79	81.0	60.8	46.8	31.6	26.6	5.1	1.3	253.2
小 都 市	139	77.0	67.6	30.2	23.7	22.3	7.2	1.4	229.5
町 村	73	83.6	69.9	37.0	30.1	24.7	6.8	-	252.1
〔 性 〕 男 女	25	76.0	68.0	12.0	16.0	16.0	4.0	4.0	196.0
〔 年 齢 〕 18 ～ 29 歳	167	78.4	64.1	31.7	26.9	19.8	7.8	1.8	230.5
30 ～ 39 歳	174	79.9	70.1	38.5	26.4	27.6	5.7	0.6	248.9
40 ～ 49 歳	34	50.0	50.0	23.5	29.4	17.6	8.8	2.9	182.4
50 ～ 59 歳	30	73.3	63.3	33.3	20.0	30.0	10.0	3.3	233.3
60 ～ 69 歳	46	80.4	73.9	28.3	30.4	32.6	10.9	2.2	258.7
70 歳 以 上	54	79.6	59.3	37.0	25.9	22.2	9.3	1.9	235.2
	90	83.3	71.1	35.6	25.6	25.6	3.3	-	244.4
	87	87.4	72.4	42.5	27.6	18.4	4.6	-	252.9

表5 - 参考 差別や偏見を無くするために必要なこと

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「あると思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	深 め る た め の 学 校 教 育	ア イ ヌ の 人 々 へ の 理 解 を 深 め る た め の 啓 発 ・ 広 報 活 動	充 実 す る ア イ ヌ の 人 々 へ の 教 育 の 充 実 ・ 支 援	充 実 す る ア イ ヌ の 人 々 へ の 相 談 機 関 ・ 施 設 に 対 応	充 実 す る ア イ ヌ の 人 々 へ の 職 業 訓 練 の 確 保	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.) %
平 成 28 年 1 月 調 査	309	72.5	53.4	28.2	20.4	19.4	1.0	2.9	197.7

(注1) 「差別や偏見を無くするために必要なことは何だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(エ) 差別や偏見がないと思う理由

(問2で「ないと思う」と答えた者に)

問6. 差別や偏見がないと思ったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

令和4年11月

- ・アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから 67.4%
- ・今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから 51.1%
- ・アイヌの人々もアイヌ以外の人々と同様に人権を保障されているから 41.5%
- ・アイヌの人々に対する理解を深める取組の効果が出ているから 15.4%

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「ないと思う」と答えた者に、複数回答)

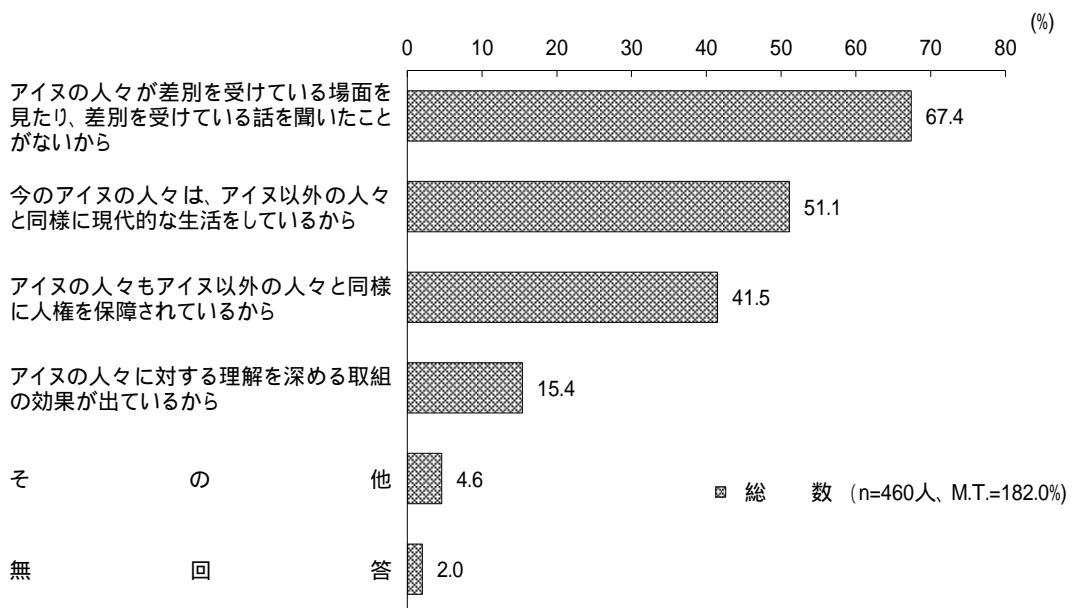


表6 差別や偏見がないと思う理由

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「ないと思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	い け い ア か て ら い 場 又 る 面 の 話 を 人 々 に 聞 か せ た こ と が 受 け な い	生 活 外 の ア イ ヌ の 人 々 と の 交 渉 に は 、 現 代 的 な ア イ ヌ	て 人 々 と 同 様 に 人 も 権 を 保 障 さ れ る	か 深 ら め い る 又 取 組 の 効 果 が 出 て 理 解 を	そ の 他	無 回 答	計 (M.T.) %
総数	460	67.4	51.1	41.5	15.4	4.6	2.0	182.0
〔都市規模〕								
大都市	116	75.9	44.0	35.3	17.2	3.4	2.6	178.4
東京都	27	85.2	40.7	33.3	11.1	-	7.4	177.8
政令指定都市	89	73.0	44.9	36.0	19.1	4.5	1.1	178.7
中都市	188	62.2	53.2	40.4	11.7	5.9	2.7	176.1
小都市	110	62.7	54.5	48.2	19.1	2.7	0.9	188.2
町村	46	78.3	52.2	45.7	17.4	6.5	-	200.0
〔性別〕								
男性	251	67.3	54.2	46.6	12.7	5.6	0.8	187.3
女性	209	67.5	47.4	35.4	18.7	3.3	3.3	175.6
〔年齢〕								
18～29歳	58	72.4	32.8	24.1	24.1	6.9	-	160.3
30～39歳	41	68.3	46.3	51.2	9.8	9.8	2.4	187.8
40～49歳	52	78.8	48.1	34.6	11.5	5.8	-	178.8
50～59歳	70	68.6	51.4	30.0	8.6	4.3	2.9	165.7
60～69歳	76	68.4	61.8	44.7	10.5	1.3	-	186.8
70歳以上	163	60.7	54.6	50.9	20.2	3.7	3.7	193.9

表6 - 参考 差別や偏見がないと思う理由

(アイヌの人々に対して、現在は差別や偏見が「ないと思う」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	い け い ア か て ら い 場 又 る 面 の 話 を 人 々 に 聞 か せ た こ と が 受 け な い	生 活 外 の ア イ ヌ の 人 々 と の 交 渉 に は 、 現 代 的 な ア イ ヌ	て 人 々 と 同 様 に 人 も 権 を 保 障 さ れ る	か 深 ら め い る 又 取 組 の 効 果 が 出 て 理 解 を	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.) %
平成28年1月調査	875	69.7	30.1	19.8	6.7	1.9	2.7	131.0

(注1) 「あなたは、なぜ差別や偏見がないと回答しましたか。この中からいくつかもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

3 国民理解の促進について

(1) 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

問7. あなたは、広く国民が、アイヌについて、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和4年11月

- ・ テレビ番組や新聞を利用した情報提供 74.3%
- ・ インターネットによる広報活動 41.3%
- ・ 民族共生象徴空間、愛称ウポポイをはじめとする博物館や体験施設などにおけるアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験 40.4%
- ・ 講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催 31.7%

(複数回答)

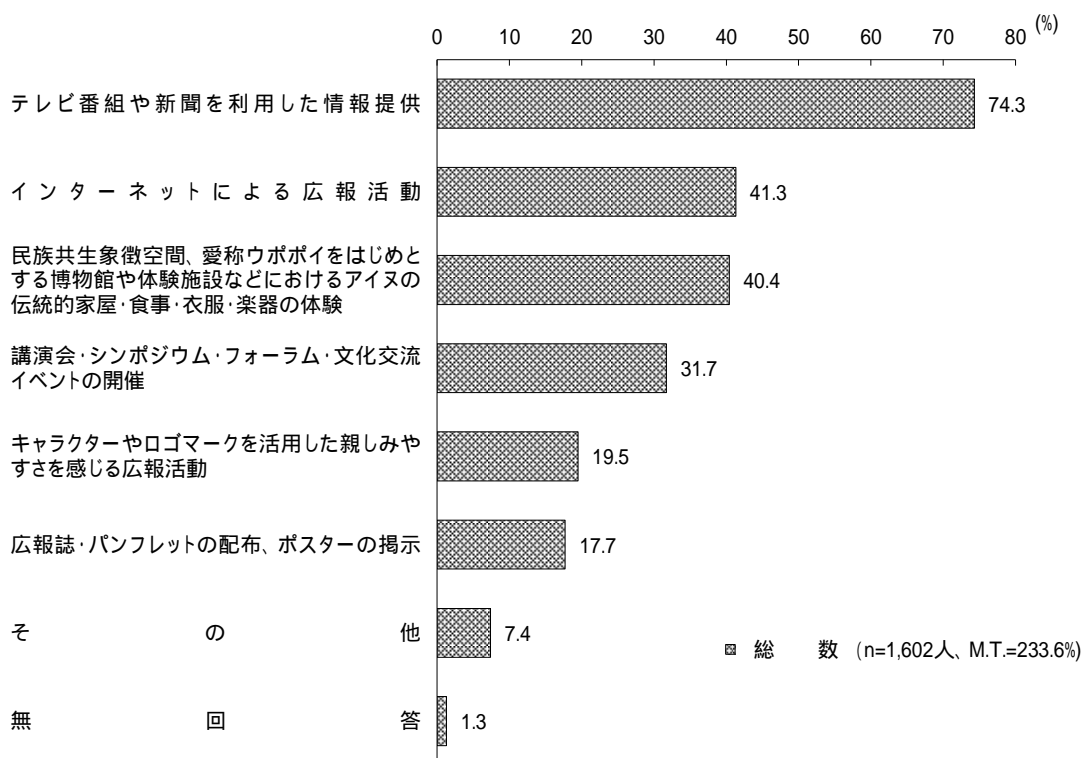


表7 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	インターネットによる広報活動	民族共生象徴空間、愛称ウポポイをはじめとする博物館や体験施設などにおけるアイヌの伝統的食生活・衣	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催	親しみやすさを感じる広報活動	キャラクターやロゴマークを活用した	広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示	その他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,602	74.3	41.3	40.4	31.7	19.5	17.7	7.4	1.3	233.6	
大 都 市	427	72.6	46.4	39.8	31.1	18.0	16.2	7.7	0.7	232.6	
東 京 都 区 部	96	71.9	57.3	49.0	29.2	18.8	15.6	10.4	-	252.1	
政 令 指 定 都 市	331	72.8	43.2	37.2	31.7	17.8	16.3	6.9	0.9	226.9	
中 都 市	669	74.3	42.3	39.8	31.4	20.9	17.2	8.2	1.5	235.6	
小 都 市	371	74.7	37.2	40.2	33.2	17.8	19.4	6.2	1.6	230.2	
町 〔性〕	135	79.3	31.9	45.9	31.1	21.5	20.0	5.9	1.5	237.0	
男 性	757	73.1	42.9	37.1	32.2	19.0	20.6	7.9	1.5	234.3	
女 性	845	75.5	39.9	43.3	31.2	19.9	15.0	7.0	1.2	233.0	
〔年 齢〕											
18 ～ 29 歳	170	63.5	49.4	37.1	14.1	27.1	12.9	9.4	0.6	214.1	
30 ～ 39 歳	162	66.0	47.5	43.2	22.2	29.6	17.9	13.6	0.6	240.7	
40 ～ 49 歳	240	75.4	55.8	39.6	26.3	30.8	18.3	9.2	0.4	255.8	
50 ～ 59 歳	276	73.6	45.7	42.0	33.3	16.7	15.9	7.2	1.1	235.5	
60 ～ 69 歳	306	79.1	40.8	41.5	39.5	12.7	19.9	6.2	0.3	240.2	
70 歳 以 上	448	78.1	25.9	39.3	38.4	13.2	18.5	4.5	3.1	221.0	

表7 - 参考 国民理解の促進に向けて効果的な取組方法

(複数回答)

	該 当 者 数	テレビ番組や新聞を利用した情報提供	再現されたアイヌの伝統的食生活・衣	インターネットによる広報活動	講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催	広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示	キャラクターやロゴマークを活用した	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年10月調査	1,745	72.8	35.5	39.0	30.3	25.0	23.6	1.3	3.3	4.4	235.2
平成28年1月調査	1,727	67.8	29.0	27.5	22.7	15.6	14.6	1.3	7.9	4.1	190.4

(注1) 「あなたは、広く国民が、アイヌに関して、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

アイヌに対する理解度に関する世論調査

令和4年11月

(n=1,602)

ここからは、アイヌに対する理解度について
おうかがいします

全員の方が【資料】を読んでから下の問1以降
にお答えください

【資料】 アイヌについて

- ・アイヌの人々は、日本列島北部周辺、とりわけ北海道に先住し、かつては、狩猟・漁労・採集や交易を行い、独自の言語や文化を形成していましたが、北海道開拓時代に日本語教育や猟の制限などにより、アイヌの文化は深刻な打撃を受けました。
- ・現代では、衣食住などの日常生活において、他の日本人と変わらない様式で生活しています。
- ・最近では、民族共生象徴空間、愛称ウポポイなどを通じたアイヌ文化の振興と普及啓発が行われています。

問1. あなたは、アイヌの人々やアイヌ文化に接した
ことはありますか。

(は1つ)

- (21.0) 1. ある
- (70.5) 2. ない
- (8.2) 3. わからない
- (0.2) 無回答

問2. あなたは、アイヌの人々に対して、現在は差別や
偏見があると思いますか。

(は1つ)

- (21.3) 1. あると思う
- (28.7) 2. ないと思う
- (49.7) 3. わからない
- (0.3) 無回答

1と答えた方は問3へ

次のページの問6に進んでください

次のページの問7に進んでください

問2で「1. あると思う」と答えた方への質問

問3. 差別や偏見があると思ったのはなぜですか。

(はいくつでも)

(n=341)

- (2.3) 1. 友人・知人など身近な人が差別を受けているから
- (62.8) 2. 報道などを通じてアイヌの人々が差別を受けているという話を聞いたことがあるから
- (27.6) 3. 昔、学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていると聞いて、今もそのイメージがあるから
- (1.5) 4. 自分の子どもから、学校の授業でアイヌの人々が差別を受けていることを学んだと聞いたから
- (27.9) 5. 経済格差や教育格差があるイメージがあるから
- (39.9) 6. 漠然と差別や偏見があるイメージがあるから
- (7.9) 7. その他(具体的に) _____
- (2.1) 無回答 (M.T.=171.8)

問2で「1. あると思う」と答えた方への質問

問4. 差別や偏見の原因・背景は何だと思えますか。

(はいくつでも)

(n=341)

- (78.9) 1. アイヌの歴史に関する理解の不十分さ
- (75.4) 2. アイヌ文化に対する理解の不十分さ
- (61.3) 3. 行政や学校教育におけるアイヌの人々の理解を深める取組の不十分さ
- (20.8) 4. 経済的格差
- (14.4) 5. 教育水準の格差
- (15.8) 6. 雇用の不安定さ
- (6.7) 7. その他(具体的に) _____
- (2.3) 無回答 (M.T.=275.7)

次のページの問5に進んでください

問2で「1. あると思う」と答えた方への質問

問5. 差別や偏見を無くするために必要なことは何だと思えますか。

(はいくつでも)

(n=341)

(67.2) 1. アイヌの人々への理解を深めるための啓発・広報活動

(79.2) 2. アイヌの歴史・文化の知識を深めるための学校教育

(23.8) 3. アイヌの人々への職業訓練の充実や雇用の確保

(26.7) 4. アイヌの人々への教育の充実・支援

(35.2) 5. アイヌの人々への差別に対応する専門の相談機関・施設の充実

(6.7) 6. その他(具体的に) _____

(1.2) 無回答 (M.T.=239.9)



右の段の問7に進んでください

問2で「2. ないと思う」と答えた方への質問

問6. 差別や偏見がないと思ったのはなぜですか。

(はいくつでも)

(n=460)

(67.4) 1. アイヌの人々が差別を受けている場面を見たり、差別を受けている話を聞いたことがないから

(51.1) 2. 今のアイヌの人々は、アイヌ以外の人々と同様に現代的な生活をしているから

(41.5) 3. アイヌの人々もアイヌ以外の人々と同様に人権を保障されているから

(15.4) 4. アイヌの人々に対する理解を深める取組の効果が出ているから

(4.6) 5. その他(具体的に) _____

(2.0) 無回答 (M.T.=182.0)



右の段の問7に進んでください

ここからは全員の方がお答えください

問7. あなたは、広く国民が、アイヌについて、関心を深めるためには、どのような方法による取組が効果的だと思いますか。

(はいくつでも)

(74.3) 1. テレビ番組や新聞を利用した情報提供

(17.7) 2. 広報誌・パンフレットの配布、ポスターの掲示

(41.3) 3. インターネットによる広報活動

(31.7) 4. 講演会・シンポジウム・フォーラム・文化交流イベントの開催

(40.4) 5. 民族共生象徴空間、愛称ウポポイをはじめとする博物館や体験施設などにおけるアイヌの伝統的家屋・食事・衣服・楽器の体験

(19.5) 6. キャラクターやロゴマークを活用した親しみやすさを感じる広報活動

(7.4) 7. その他(具体的に) _____

(1.3) 無回答 (M.T.=233.6)